

# 2006年スーパー耐久 シリーズ第2戦参戦報告書



レーシンドライバー  
岩倉 弘明

「GT-NETスーパー耐久シリーズ 第2戦」に参加致しましたので下記の通りご報告させていただきます。



レース名:

スーパー耐久レース・鈴鹿300マイル

シリーズ第2戦

開催日時:

2006年5月20・21日

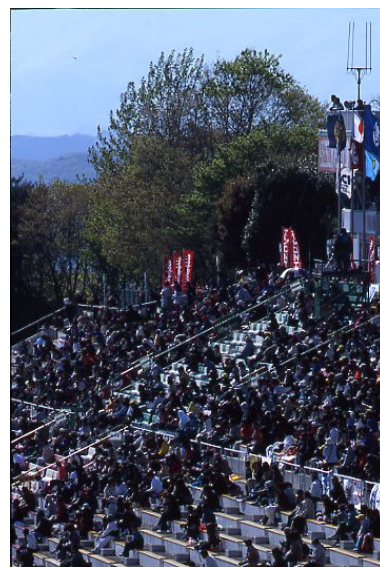
開催サーキット:

鈴鹿サーキット(三重県)

観客総数

5月20日(予選) 10,000人

5月21日(決勝) 16,000人



## 予選レポート:

午前中のドライバーズ予選の際に新車特有のトラブルにより、第2ドライバーの浅見選手がタイムアタックが出来ず、タイムが抹消となってしまいました。

その為、13時からのグリッドクオリファイに出走する事が出来なくなってしまい、私が担当する「Cドライバー予選」でタイヤのライフや燃費などの重要なメニューを確認する事となりました。

今までフォーミュラカーしか乗った事が無く、初めて経験する市販車ベースの車両、そして約10年ぶりの鈴鹿サーキットというかなり大きなハンデを抱え、大きなプレッシャーを感じましたが、今まで培ってきた自分の経験と実力を信じ予選に挑みました。

走り出して2周目の時点で基準タイムをクリアする事が出来たので、各コーナーでのライン取りやマシンの特性を更に引き出せる走りなどにチャレンジし、特に大きな問題を抱える事無く予選を終了致しました。

終了次第、チームメンバー及びご支援を頂いておりますメーカーの方々とミーティングに入り現状でのライバルチームとの直線でのスピード差などについて話し合いを行い、タイヤメーカーの横浜ゴム様からはタイヤの状態が非常に綺麗で、初めて市販車ベースのマシンに乗ったとは思えないという高評価を頂きました。





# 決勝レポート:

迎えた決勝日は初夏を思わせるような陽気で、正午の時点で気温は30度まで上がり、決勝は荒れたレースになる事を予感致しました。

決勝前のピットウォークでは、観客の方と記念撮影やサイン、ステッカーの配布などファンサービスを行いました。

迎えた決勝レースは、名前の通り300マイル(480km)という長丁場で争われ、スタートは第1ドライバーの山内が、中盤は私、終盤は第2ドライバーの浅見が乗るという事が決まり、一戦級のドライバー達と戦える事を非常に楽しみに感じておりました。

しかし、山内がスタートを無事に決め、順調に順位を上げていた8周目に突然エンジンから白煙が上がり無線で「エンジントラブル」という非常に残念な無線が入りました。

乗れなかった悔しさを非常に強く感じたのですが、これが耐久レースの難しさであると改めて実感致しました。

今回はこのような残念な結果に終わってしまい、誠に申し訳御座いませんでした。

次回の十勝24時間耐久レースに向けてチーム一丸となり、対策を施し必ずや上位に入賞が出来るように努力致しますので、是非ともご支援の程、宜しくお願い致します。

*Hiro Iwakura*

